

# 人類VS恐竜

進化したダイナソパークが  
ついに完全版！  
生き残りをかけた  
戦いが今始まる！

## DANGER

これまで隠されてきた扉が開く。  
そこでは、恐竜のタマゴを使った研究が  
行われてきた。  
タマゴを奪われ、怒り狂う恐竜たち。  
全方位から、迫りくる!!

### CATEGORY AREA

- 隔離された危険地帯
- 草食恐竜の棲む丘
- 弱肉強食の森
- 森の奥に広がる巨大恐竜の草原
- 巨大翼竜が舞う大空
- ハンターが覗く谷
- 最強の陸の王者

草食恐竜の棲む丘

巨大翼竜が舞う大空

ハンターが覗く谷

隔離された危険地帯

森の奥に広がる巨大恐竜の草原

最強の陸の王者

<b>スピノサウルス</b> トゲのあるトカゲ 12m / ●肉類 / 白亜紀	ティラノサウルスと並ぶ巨大肉食恐竜のひとつ。ワニに似た細長い頭骨、背中の中、大きなかぎ爪をもつ。背中の帆は求愛やおどし、あるいは体温調節のために使われていたと考えられている。	<b>メガロサウルス</b> 大きなトカゲ 6~7m / ●肉類 / ジュラ紀	世界で最初に発見された恐竜。大きさは中型ではあるが、手足の鋭い爪と牙で非常に長い期間に渡って生息していた優秀な肉食恐竜。すべての恐竜研究はここから始まった。
<b>ユタラプトル</b> ユタラのどろぼう 6m / ●肉類 / 白亜紀前期	ドロマエオサウルス科で最大級の大きさを誇る。後ろ脚にあるかぎ爪は20cm以上に達し、脚の骨は遥かに大きいアロサウルスの太さにも匹敵する。スピードとパワーを兼ね揃えた最強のハンターだ。	<b>アウカサウルス</b> アウカ(地名)のトカゲ 4m / ●肉類 / 白亜紀後期	がっしりとした後足に比べて極端に短い手を持つ。獣脚類の中でも比較的小型であり、大型の恐竜などではなく自分より小さな竜脚類の子供や卵を狙っていた。
<b>コエロフィシス</b> 中空の形(かたち) 3m / ●肉類 / 三畳紀後期	原始的な小型肉食恐竜。首と尾が長く華奢な体で体重は30kgに満たなかった。大量の化石がまとまって発見されることから群れで生活していたと考えられている。	<b>アロサウルス</b> 変わったトカゲ 7.9m / ●肉類 / ジュラ紀後期	ジュラ紀後期に生息した大型の肉食恐竜。両目の上に角のような突起がある。前足は三本指で、大きなかぎ爪がある。丈夫で鋭い歯と頑丈な頭骨を持ち、すばい動きで獲物を襲った。
<b>ヴェロキラプトル</b> すばいどろぼう 2m / ●肉類 / 白亜紀後期	人間大の体長の小型肉食恐竜。素早い動きと、後ろ足の10cmほどの大きなかぎ爪が攻撃の武器。一度つかまれば最後、逃げられない。攻撃力が高く、気性の荒々しい恐ろしいハンター。	<b>プロトケラトプス</b> 最初の角のある頭 2.5~3m / ●植物食 / 白亜紀後期	ヒツジぐらいの大きさの原始的な角竜。モンゴルのゴビ砂漠で多数の骨格が発見されている。集団で集作りや子育てをしていたと考えられ、同時代に生きたパロキラプトルの格好の餌食だった可能性も高い。
<b>ステゴサウルス</b> 屋根のあるトカゲ 9m / ●植物食 / ジュラ紀後期	背中に大きなひし形の骨の板が互い違いに並んでいる。尾の先には鋭い大きなトゲもある。体の大きさに比べて脳は小さく、クムミほどの大きさ(70g)しかなかった。骨の板の役割は防御用や体温調節など意見が分かれている。	<b>パキケファロサウルス</b> 厚い頭をもつトカゲ 5m / ●植物食 / 白亜紀後期	いしあたまとも呼ばれる堅頭竜の仲間。頭頂部の骨がドーム状に発達し、骨の厚さは20cmほどもある。頭の後ろや、ほお、鼻のあたりは小ささまざまなコブや角で飾られていた。
<b>テノントサウルス</b> 恐ろしいトカゲ 6m / ●植物食 / 白亜紀前期	イグアバドンの仲間、中型の植物食恐竜。2本足でも、4本足でも歩けたとみられる。ディノニクスの化石と一緒に発見されたため、ディノニクスの群れに襲われ、餌食となったと考えられている。	<b>ディノニクス</b> 恐ろしいかぎ爪 3m / ●肉類 / 白亜紀前期	体長3mに対して、体重100kg以下で、とても動きが素早い。脳も他の恐竜に比べ発達していて、抜け目なく、素早く獲物を捕らえた。武器は前足の3本指についているかぎ爪と後足の第2指の大きなかぎ爪。
<b>オルニトミムス</b> 鳥もどき 3m / ●雑食 / ジュラ紀後期	ダチョウと似たような体格で恐竜界最速の足の速さを誇る。時速60kmぐらいで走れたと考えられている。くちばしには歯がなく、昆虫や植物を食べていたと思われる。	<b>アンキロサウルス</b> 溶け合ったトカゲ 10m / ●植物食 / 白亜紀後期	全身が堅い装甲板でおおわれ、最大の武器は尾の先端の骨のこぶ。同時代に生きたティラノサウルスの襲撃にあっても、この棍棒のような尾を左右に振って防御したと考えられている。
<b>アバトサウルス</b> 人を迷わすトカゲ 19~25m / ●植物食 / ジュラ紀後期	約1億5000万年前のジュラ紀後期に北アメリカ大陸に生息した大型の植物食恐竜。かなり竜の仲間。生後13年で成体になり、成長率はけた外れに速く、一日で15kg増えた可能性もある。体重は25t以上にも達した。	<b>プテラノドン</b> 歯のないつばさ 7.9m / ●魚類 / 白亜紀後期	空を飛ぶには虫類といわれる翼竜の仲間で、最も知名度が高い。長さ1mほどの大きなとさかをもち、巨大な体のわりに軽量(約20kg)で、抜群の滑空能力を誇った。
<b>ティラノサウルス</b> 暴君トカゲ 13m / ●肉類 / 白亜紀後期	史上最強の大型肉食恐竜。別名T-REX。あごの長さはナント1.2m。バナナの大きさぐらいの歯が50本以上あった。言わずと知れた恐竜界のキングオブキング。	<b>トリケラトプス</b> 3本の角のある生活 2.9m / ●植物食 / 白亜紀後期	恐竜時代の最後の最後まで生きていた恐竜のひとつ。同時代に生きたティラノサウルスの餌の標的だった可能性も。しかし、3本の角と頑丈なえり飾りで、ティラノサウルスに立ち向かったかもしれない。